

くらませて、そのところを親指と人差指で二度ばかりつまんで見せる。

借りる 「少し」の手まねをしたその手をそのまま胸もとへ引きよせる。

カルタ 左手の掌の上で、右手で札を繰る真似。

軽い 下腹部の前で物を両手で軽々と持ち上げる身振りと表情。

枯れる 木（或は草、花）——死ぬ。

川（河） 掌を上に向け五指の指頭を左にさした右手。五指をこまかく波打たせながら右へ移動させて行く。川の流れを横写したものは可愛い 「愛する」と同じ手まね。

変りなし 「相変らず」と同じ手まね。

考える 「思う」と同じ手まね。この場合人差指に力を入れ考える表情があつてよい。

関係 「間柄」と同じ要領の手まね。しかし、親指と人差指で輪にしてつなぎ合わせた



両手を少しばかり左へ移行するがよい。

看護婦 医

（右手で左の脈をとる）——女性

頑固 人差指

で腹部をさして「心」を表わし、その位置で五指の指頭 集め合せた両手を左右に互の指頭を強く着け合わせて僅かに下に下げる。固く結びついている様。

勘定 「会計」と同じ手まね。

感謝 「有難う」と同じ手まね。

感心 右手の親指と人差指の指頭を合わせ、その指頭を右頬につけ、上へこめかみのところまでもみ上げるように手を僅かにくるくる動かしながら伝い上げる。「快感」とよく似た要領であるが、頬からこめかみへする

指の運動は「感ずる」意味のものである。

完全 全く一致—良し。

簡單 右手の人差指の指頭をちよつと口唇につけてから、上に向けた左手の掌の上を一つ打つ。

寛大 人差指と親指をまるく曲げて半円を形どった両手を左右に腹の上にびったりつけて、一つの円をつくる。それから両手を左右に引き離し大きい円を表わすつもり。腹(心)の大きさを示す。

肝腎 五指の指頭を上にした右手の掌を反対側の左の頬にすれすれに向け、軽く頬を叩たくように(頬にあたらぬ)こまかく左右に動かせる。手に触れるのも、はらはらとする思いをする程「大切」な「大事」な「肝腎」など云うことである。

監督(監視) 人差指と中指を曲げたその指頭を眼の先に持って行き、こまかく左右に動

かせる。左右に眼を配って「監視」「見きわめる」を表わしたもの。

堪忍 掌を下に向け五指の指頭を左にさした右手、その掌を僅かにまるく彎曲さして腹につけ下腹部に押え降す「腹の虫を押える」の意味。

看板 「揭示」「宣伝」と同じ手まね。

キ

樹(木) 握り拳にした両手の腕をV字形に交叉したまま拳をぐるりと一回転させる。樹木の幹の股のねじれた様態。

黄色 掌を左側に向け指頭を上にした右手の人差指と親指、その親指の方の指頭を額につけ、人差指の方をこまかく動かせる。

急に 「時間の流れ」を表わす手まねの途中その人差指の指頭を急に上にさし上げる